

国道16号の右折専用レーン及び交差点歩行者たまり場の整備により、事故が8割減少

首都圏環状道路から川越駅へのアクセスポイント

・右折占用レーンを設置したことから、**急な車線変更が約8割減少し、対策後3ヶ月での事故件数は1/4となった。**

対策前 4件/3ヶ月 → 対策後 1件/3ヶ月

(※1件はひき逃げ事故であり、渋滞による追突事故は発生していない)

・アンケートにより歩行者たまり場の整備により、**自転車・歩行者が安心して信号待ちできるようになり、93%の方が安全になったと実感。**

新宿町3丁目交差点を利用する歩行者・自転車の方々へのアンケート結果より

位置図



新宿町3丁目交差点のこれまでの経緯

H21. 9	国庫計画予定地内の土地所有者から公有地拡大推進法に基づき、他者への土地有償譲渡に関する届出が川越市へ提出
H22. 2	川越市にて国道拡幅用地を先行買収
H22. 7	大宮国道事務所にて土地の買戻し
H22. 10	大宮国道事務所にて工事着手
H22. 12	工事完了

川越市との連携により、約1年の短期間で交差点改良を実施

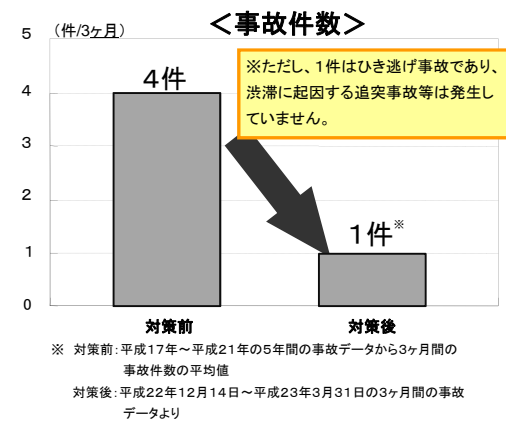
整備内容



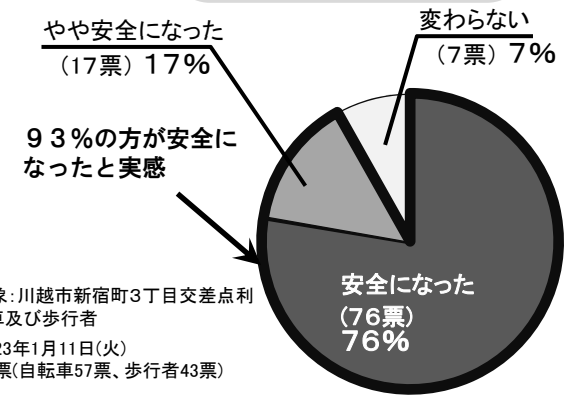
■埼玉新聞 平成22年12月18日(土)

新宿交差点の改修工事完成

埼玉県交通企画課が、埼玉県道10号下から国道16号へ右折する車両の渋滞を解消し、歩行者の安全確保を図るため、右折専用レーンと歩行者たまり場を整備した。工事期間は約1年、12月14日に完成した。右折専用レーンと歩行者たまり場の整備により、歩行者の安全確保が図られる。また、歩行者たまり場の整備により、歩行者の待ち時間が短縮され、歩行者の安全確保が図られる。



歩行者・自転車の方々へのアンケート結果



※アンケート対象: 川越市新宿町3丁目交差点利用する自転車及び歩行者
調査日: 平成23年1月11日(火)
回答数: 100票(自転車57票、歩行者43票)



対策前の状況



対策後の状況